

作新学院大学

とちぎ学(人材育成と地域振興)

「地域発展を担う栃木の人材育成と成長戦略」

講義資料

地域経済の発展は人材育成から
—地域発展を担う栃木の人材育成—

開倫塾

塾長 林明夫

(公益社団法人 栃木県経済同友会 理事)

(一般社団法人 栃木県生産性本部 会長)

2023年12月6日(水)

第3時限 13:00~14:40

Q 1 : この講義では郷土を知り、郷土を愛し、郷土で活躍するための基礎知識の修得を目指します。

栃木県の特長は何ですか

A : (1) 日本最古の学校、足利学校がある県です。

- ① 足利学校の創設には、奈良時代・平安時代初期・鎌倉時代初期と様々な説があります。室町時代に関東管領、上杉憲実が再興、江戸時代には徳川家康により近世の儒学の基礎となりました。
- ② 「四書(論語・孟子・大学・中庸)」や「易教」がさかんに研究され、3000名もの学僧(学問の僧)が学び、その教えを全国に広めたとされています。
- ③ フランシスコ・ザビエルによって、「日本国中最も大にして、最も有名な坂東のアカデミー」と紹介されました。
- ④ 江戸時代の精神的支柱となった儒学の精神は、江戸湯島聖堂と足利学校が徳川家康の命により学問的中心となったと伝えられています。

(2) 江戸時代末期に二宮尊徳(1787~1856)が活躍した土地です。

- ① 二宮尊徳は現二宮町を中心に県東・茨城県西部、日光地域を中心に活躍。
- ② 36歳から70歳まで34年間、栃木の農村づくりに励まれました。
- ③ 「積小為大」「分度推讓」など様々な教えを残しました。
- ④ 栃木県に近い埼玉県深谷市血洗村で育ち、近代日本の産業の父とも言われた「渋沢栄一」も足利学校で学び、また、二宮尊徳の教えを学んだと伝えられています。

(3) ① 栃木県は、栃木県議会議員、衆議院議員を務めた田中正造(1841~1913)が足尾鉍毒事件の解決のために奔走した土地です。

- ② 「余は下野の百姓なり」と、最後は、谷中村の人々とともに農民救済運動に72年に及ぶ生涯をささげました。

(4) 栃木県人のまじめで誠実・実直、曲がったことはしない県民性は、足利学校の儒教の精神、それを体現し、農村改革を行った二宮尊徳、足尾鉍毒事件で農村救済に一生を尽くした田中正造のDNAを引き継いでいるものと思われます。

(5) 我が郷里栃木県とはどのような県かと言えば、

- ① 日本最古の学問的中心地、足利学校の教えが江戸時代の基本的精神の儒教として全国に広まり、
- ② その儒教精神の体現者として二宮尊徳が生涯にわたって農村改革を行った土地、
- ③ 公害問題の原点である足尾鉍毒事件の解決のため、田中正造翁が生涯にわたって農民とともに歩んだ文化・伝統のある土地と言えます。

(6) 栃木県が東京都、愛知県に次いで、1人当たり都道府県民平均所得の多さ、2015年から4年続けて全国第3位となったのは、製造業の堅調もありますが、このような勤勉・実直・誠実で不正義を行わないという県民性によるものと考えます。皆様はどう思われますか。

Q 2 : では、ズバリお聞きします。仕事とは何ですか

A : (1) 仕事とは、「もの(製品)やサービスを提供すること」です。

* 「何を提供するか」(事業領域)

(2) すべての仕事には、「お客様(顧客)」がいます。

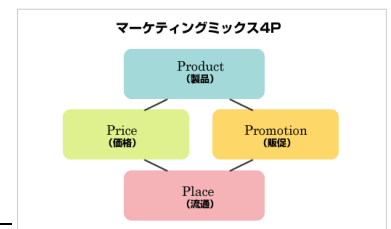
* 「顧客の定義」

(3) 仕事とは、お客様(顧客)にももの(製品)やサービスを提供することで、お客様(顧客)の問題解決に役立つことと考えます。

* 「顧客の問題解決」

(4) 同じようなお客様は、目の前にいるお客様以外にも世の中にたくさんいるとしたら、仕事は、ものやサービスを提供し、問題を解決することでお客様のお役に立つことと同時に、世の中のお役に立つことだと考えます。

* 仕事とは「顧客の役に立つこと」「世の中の役に立つこと」



ちょっと一休み<コーヒースタンド>

「マーケティングの4P」と「各々のPの顧客に対する意味(4C)」とは

<マーケティングの4P>

<顧客にとっての意味(4C)>

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| (1) Product(製品・サービス) | …顧客の問題解決(Customer Solution) |
| (2) Price(価格) | …顧客のコスト・負担(Customer Cost) |
| (3) Place(場所・流通) | …顧客の利便性(Convenience) |
| (4) Promotion(販売促進・広報) | …顧客とのコミュニケーション(Communication) |

Q 3 : 人は何のために働くのですか

A : (1) 顧客のお役に立つため、世の中のお役に立つため

(2) 生活できるだけの収入を得るため

* 「ディーセント・ワーク」(ちゃんとした仕事)

(3) 仕事を通して「自己実現」するため

* 自己実現とは、自分の夢や希望を果たし、よく生きること



Q 4 : 仕事をしていて大変なことは何ですか

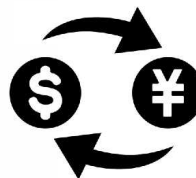
A : (1) 事業を取り巻く激しい環境変化に対応し、業務を遂行することです。

- ① コロナ禍
- ② 低頻度^{ていひんど}巨大災害
- ③ 経済危機
- ④ 急激な円安、為替の変動による産業構造の転換
- ⑤ 超少子高齢化による人手不足
- ⑥ デフレ^{まんえん}の蔓延(長引くデフレ)
- ⑦ ロシアによるウクライナ侵攻、ハマスによるイスラエル侵攻、イスラエルによるガザ地区への報復など、国際情勢が激変



(2) 競争相手の絶えざる出現

- ① 同業他社
- ② 異業種
- ③ 海外からも



(3) 代替品の出現

(4) 生産性の低迷

$$\text{生産性} = \frac{\text{産出量(OUTPUT)} \cdots \text{顧客価値の創出} \cdot \text{イノベーション} \cdot \text{新規事業}}{\text{投入量(INPUT)} \cdots \text{適正化} \cdot \text{経費削減} \cdot \text{事業縮小}}$$

(5) では、どうしたらよいか

- ① コア事業を深化・継続
 - ② 新規事業を創出・発展
- } この2つを同時併行して「行い続ける」こと
- * 「両利き経営」への挑戦
 - * 「多能工」の要請
- ③ 「イノベーション」



Q 5 : これからの社会とはどんな社会ですか。そこで求められる人材とは何ですか

A : (1) 「知識基盤社会」 …… 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

(2) 「グローバル社会」 … 「多様な集団で交流する能力」

(3) 「課題山積社会」 …… 「自律的に活動する能力」



Q6：学生時代に身につけておいたほうがよいことは何ですか

A：(1)小学校・中学校・高校・大学・専門学校・大学院などで学んだすべての教科を「学び直し」、各学校の教科書をていねいに「理解」し、「定着させる(身につける)」こと。



- ①授業に真剣に出席するだけでなく、
- ②大学で学んでいるすべての教科書をていねいに「予習」「復習」。本質的「理解」を目指す。
- ③「音読練習」「書き取り練習」をし、「知識」を深める。「定着させる(身につける)」こと。

(2)①小学校・中学校・高校と大学のすべての教科の内容は、仕事をする上で、また、社会的な活動をする上で、人生をよく生きる上で一生役に立つからです。

②大学を含め、すべての教科書は決して処分しないで繰り返し学び直し、一生かけて学び直し、「理解」を深めることをおすすめします。

③特に、就職試験・採用試験、国家試験、新しくものごとを学ぶときに役に立ちます。

(3)「学習の仕方」

①社会に出てからが勉強です。新しく学ばなければならないことが山ほどあります。

②「予習」、「復習」、「理解」、「定着」、「テストの受け方」

③「ノートの取り方」「ノートの整理」「ノートの活用の仕方」

* 「まとめノート」が重要

* 「仕事はメモで身につける」

④「発言・発表・議論」の仕方

* 「チーム」での仕事の仕方

⑤学校時代の教科書、ノートの「学び直し」を基本とすること



ちよっと一休み<コーヒープレーク>

(1)「5S」を！

- ①「整理」(seiri) …いらないものを処分する
- ②「清掃」(seisou) …きれいに掃除をする
- ③「整頓」(seiton) …ものは同じ場所に置く
- ④「清潔」(seiketsu) …①～③を保つ
- ⑤「躰」(shitsuke) …自分から進んで行う

(2)別の意味の「躰」も大事

- ①「美しい立居振舞い」…服装も大事
- ②「美しい言葉遣い」…「敬語表現を含む言葉遣い」
- ③「元気なあいさつ」…あいさつはこちらからする

(3)「読解力」—情報を正確、分析的に読み解く力—

- ①「語彙力」…辞書の使い方
- ②「新聞」を読んで「自分で考える力」「批判的思考能力」を身につける
- ③「読書」…これぞという「古典」をじっくり何回も読み、「思慮深さ」「自省心」「省察力」を身につける。—古典の作者との「時空を超えた対話」を一



Q7：学力とは何ですか

A：(1)「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」「自己教育力」

①自分や仲間のよいところ(潜在能力)をどんどん伸ばす力…

チームプレイ(仕事はチームで行う)ー組織の潜在能力

②「価値(大切さ)」「意味(意味付け)」「秩序(仕事の手順・優先順位)」を考える

③「社会的使命(ミッション)」ーGood ancestor(よき祖先)と後の世に遺せるものは何か

(2)参考となる本

①内村鑑三著「後世への最大遺物・デンマルク国の話」

②内村鑑三著「代表的日本人ー西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人」ともに岩波文庫

③スマホが好きな人は、「スティーブ・ジョブズ」の伝記を、是非お読みください。

(3)「学力」を身につけて得られるもの

①「多様な選択肢のある人生を歩むこと」

②「正常に機能する社会(持続可能な社会)の形式に貢献すること」

③「よく生きること」



(4)図書館で「辞書・新聞・読書」「PC」などを活用し、知的な人生を歩むこと

①大学図書館 } を使いこなす能力

②公共図書館 }

③「自分の図書スペース(読書スペース)」をもつこと…「机一つ」もつ幸せ

ー本棚に何を並べるか、本は何回読むかー

*いざという時には「ハードな長時間自己学習」を！



Q 8 : 最後に一言、好きなことばを紹介してください

A : 私の好きなことば

(1) 「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

(3) 「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む)」

(4) 「独立自尊」

(5) 「スポーツの3つの宝」

- ・ 練習は不可能を可能にする
- ・ フェアプレイ
- ・ よき友

(6) 「会った人は、皆、友達」

(7) 「目には遠いが心は近い」

(8) 「人生逃げ場なし」

(9) 「持続する志」

(10) 「教育ある人とは、一生、勉強し続ける人」

(11) 「人生は青天井、一生青天井」

(12) 「一生勉強、一生青春」

(13) 「離見の見(りけんのけん)」

* 舞台上で踊っている自分を、離れた観客席から見る

(14) 「健康第一、心の健康、身体の健康」

(15) 「^{かち}価値・^{いみ}意味・^{ちつじょ}秩序」



感謝

御清聴ありがとうございました。心から感謝いたします。

御質問・御意見・コメントなど自由に御発言ください。

生産性を向上させるにはどうしたらよいか...

生産性向上を実現するには、産業・企業の実情や課題に応じて①より多くの「成果」を生み出す、②「投入」の質の改善(または効率化)に取り組むことが重要

成果 OUTPUT

投入 INPUT

働き方改革や人材育成・人的資源投資が重要

- ① 生産量・顧客数の拡大、売上・付加価値の増大
- ② 新商品／新ビジネスモデル開発(イノベーション)
- ③ 製品品質／サービス品質の向上
- ④ 新市場・サービス／新しい顧客の開拓
- ⑤ 顧客満足／リピート率の向上
- ⑥ ブランド価値／企業イメージの向上 など

- ① 従業員の能力開発・従業員満足の上
- ② 機械化・自動化・仕組み化(AI活用など)
- ③ 業務プロセスの改善
- ④ デジタル技術(DX)・ビッグデータ活用など

経営トップのリーダーシップ / 健全な労使関係の構築

セミナー参加の常識
—生産性向上を目指して—

一般社団法人 栃木県生産性本部
会長 林 明夫
(開倫塾 塾長)

1. <自覚をもって学ぼう>

- (1)この度は、一般社団法人 栃木県生産性本部主催のセミナー・研修会に御参加いただき、ありがとうございます。心から歓迎申し上げます。
- (2)栃木県生産性本部の1つ1つのセミナー・研修会は、すべて、御参加の皆様のスキルアップ、経営能力の向上、潜在能力強化によって、皆様の企業や団体、業界、栃木県の生産性向上を目的に行われるものです。
- (3)まずは、皆様の能力強化による生産性向上という目的を、しっかり自覚なさり、学んでくださいますよう、お願い申し上げます。

2. <テキスト・資料の予習を>

- (1)「セミナー・研修会会場」には、スタート時間の約30分前に到着し、トイレなどを済ませて着席できるよう、余裕をもって出発することを心掛けてください。30分前に着席できるのも大切な能力です。
- (2)セミナー開始30分前に到着したら、本日のテキスト・資料に目を通し、「予習」をしてください。
- (3)一語一語、ゆるがせにしないでお読みください。語句の意味がわからない場合には、辞書やインターネットで調べましょう。そして、何がよくわからないかをはっきりさせて、セミナーに臨んでください。
○予習は何のために行うか。「よくわからないことを明確にし、問題意識をはっきりさせてセミナーに臨む」ことが、「予習の目的」です。

3. セミナー中は、講師の先生の指示通り御参加ください。

4. セミナー終了後は、<「復習」と「定着」を>

- (1)セミナー終了後は、その日の「テキスト」「教材」「ノート」などを、その日のセミナーを思い出しながらゆっくり読み直し、「復習」し、内容の理解に励んでください。
○「意味」のよくわからない「語句」は、辞書やインターネットで調べる。
○調べた内容は、テキストやノートに書き写し、その場で覚えましょう。「ことばは力」です。
身につけている「語句の数」を増やしましょう。
- (2)十分「理解」できたら、「テキスト」や「教材」「ノート」を、全部「身につける」、「スミスラスミまで覚え」「定着」させることが大事です。

(3) <定着のための3大練習>…身につける、覚えるためには、次の3つの練習が役立ちます

- ①「音読練習」 …… 声を出してスラスラ言えるようになるまで読む「音読練習」
 - ・大切なことは、何も見ないで言えるまでに…「暗唱」を!
- ②「書き取り練習」 …… 教科書や新聞の書体「楷書(かいしょ)」で書き順も含めて正確に書けるようになるまで「書き取り練習」
 - ・大切なことは、何も見ないで書けるまでに…「暗記」を!
- ③「計算・問題練習」 …… 大切な「計算や問題」は、見た瞬間にパッパッと正解が出るまで練習を!

5. <応用>…「業務・仕事で役立つ」のが「応用」

本日学んだことを、仕事や課題解決にどう用いるか、その手順・プロセスを考えましょう。

(1) <課題解決のための手順>

- ①「問題の発見」…「何が問題か」をはっきりさせる
- ②「原因の推定」…「本質の原因は何か」を推定する
- ③「応急措置」…「では、とりあえずどうしたらよいか」を考える
- ④「制度変更」…「ゆくゆくはどのようにシステムを変えたらよいか」を考える

(2) このためには<ベストプラクティスのベンチマーク>を

- ①「社内ベストプラクティスのベンチマーク」
 - ②「同業他社のベストプラクティスのベンチマーク」
 - ③「異業種のベストプラクティスのベンチマーク」
- 「ベンチマーク」とは、「ベストプラクティス」から「素直な心で学ばせていただくこと」です。

(3) あとは、<「PLAN」「DO」「CHECK」「ACTION」>、<「実験」「観察」「分析」>あるのみ!

6. <おわりに>このセミナーを「生産性向上」に結び付けよう!

(1) 「生産性向上」に向け、「分母(IN PUT)」の適正化・改善と「分子(OUT PUT)」のために、顧客価値の極大化が大切です。この取り組みのために、是非、生産性本部のセミナーの最大活用をお勧めします。

(2) しかし、現実には厳しく、「経営数値の改善」は困難を伴います。生産性本部のセミナーや研究会を通じて、社内や団体内はもちろん、社外や異業種の皆様とのコミュニケーションを図り、「励まし合う仲間づくり」をお勧めします。

○同じセミナーや研修会に、毎年、トップを含め社内の同じメンバーで参加し、問題意識や目標を共有化することもお勧めします。

○セミナーから帰って、実行に移すときには、「志」や「問題意識」を同じくする仲間と一緒にの方がやりやすいからです。

(3) 最後に、「日本経営品質賞」の栃木県版である「栃木県経営品質賞」、更には、「日本経営品質賞」に取り組み、「卓越した業績(Performance Excellence)」を目指していただくことを心からお勧めいたします。栃木県経営品質協議会を最大限御活用ください。

力を合わせてがんばりましょう!

11月13日9時00分からCRTで収録

大学では1回90分の授業につき、4.5時間の予習・復習が必要です

一小学生・中学生・高校生のうちから、すべての授業の予習・復習の学習習慣を一

開倫塾

塾長 林明夫

Q1：大学生は1回90分の授業につき、4.5時間の予習・復習が必要なのですか。

A：(1)はい、その通りです。大学は最高学府なので、1回90分の授業について、合計4.5時間の予習・復習が必要です。

(2)1週間に10教科を大学で学ぶ場合には、月～金で1日平均2教科です。1週間に合計45時間の予習・復習が必要です。

(3)7日間毎日、予習と復習をすれば、1日6.5時間ですが、土・日はお休みすると5日間になりますので、1日9時間の予習・復習となります。

(4)1日24時間のうち、睡眠時間(8時間位)と通学や授業時間(6時間位)を除いた残りの時間は10時間です。そのうちの6.5～9時間が「予習・復習」の時間となります。

(5)1週間に12教科を学習するなら、この1.2倍、14教科なら1.4倍の、予習・復習の時間が、大学では求められます。



Q2：大学生はそんなにたくさん予習・復習をしなければならないのですか。

A：(1)睡眠時間を削ったり、大学にいる間の時間や通学時間などを工夫したりして、大学生の皆さんは予習・復習の時間を確保しているようです。

(2)授業の数が少ない日や土曜日、日曜日、祝日には、一日中、予習・復習をしている大学生も、たくさんいます。

(3)一番賢い大学生は、その学期の授業が始まる前の2か月間の長期休暇の間に、次の学期に学ぶ教科のうちの何教科の教科書を、1冊予習しています。

(4)新学期が始まってから、数多くの新しい教科を、全部一斉に学ぶのは本当に大変です。ですから、たとえ何教科だけでも、学期が始まる前に予習しておこうというものです。素晴らしいと考えます。



Q3：何だか、開倫塾がすすめている「GWが終わるまでに、新学年の教科書をたとえ半分、3分の1だけでも予習し終えよう」と似ていますね。

A：(1)「新学期が始まる前に、教科書の最初の100ページの予習」をおすすめします。できれば全教科、1教科でも多く、予習しておくことをおすすめします。

(2)開倫塾で学ぶ小学生・中学生・高校生の皆様の多くは、高校卒業後に、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院などに進学すると思います。

(3) そこでおすすめしたいのは、大学などに進学したあとで困らないように、小学生・中学生・高校生のうちから、たとえ短い時間であっても、「予習・復習」の「学習習慣」を身につけてから「大学などに進学」することです。



(4) 「予習・復習」の「学習習慣」が身に着いていなければ、大学生になったからといって、急に、「長時間の予習・復習」をするのは無理だからです。

(5) 同時に、「予習・復習」の「大切さ(価値)」を知り、自分にとっての「意味」を考え、「具体的なやり方」を身につけておくことが大切です。

Q 4 : 「予習・復習」の「大切さ(価値)」とは何ですか。

A : (1) 「予習」の「定義(ことばの意味・内容)」は、『授業』の内容を『予(あらかじめ)め、習(なら)う』ことです。



- ① まずは、「授業の内容」つまり、「教科書や資料」に書いてあることで、よくわからない語句があったら、辞書で調べ、ノートに書き写し、その場で覚えること。
- ② 「教科書や資料」に書いている内容を「一語一語」ゆるがせにしないで、「理解」することが大事です。
- ③ 次に、英語や国語の教科書は、スラスラよく読めるようになるまで「音読練習」すること。全教科、新しく出てきた語句や重要語句は、正確に書けるようになるまで「書き取り練習」をすること。算数や数学・理科などの「計算・問題」は、自分の力ですべてノートに解くこと。
- ④ そして、「全教科とも、何がよくわからないかをはっきりさせて授業に臨むこと」。これが「予習の目的」です。

(2) 「復習」とは、その日の授業内容を、テキストや資料、ノートなどを用いて思い出し、どのようなことかよく考える。計算や問題は、必ず、もう一度解き直してみること。「理解を深める」ことが「復習の目的」です。

(3) そして、時間を作って「予習・復習」をして十分に「理解」した内容を、「正確に身につける」ことが大事です。

- ① 声を出して読む「音読練習」、正確に書けるようにする「書き取り練習」をすること。
 - ② テキストやノートの内容をスミからスミまで何も見ないで言える「暗唱(あんしょう)」や、何も見ないで書ける「暗記」にも挑戦すること。
 - ③ 計算や問題は、パッパッパッと正解が出るまで何回も解く「計算・問題練習」をすることをおすすめします。
- 定着のための3つ「練習は不可能を可能」にします。



Q 5 : 最後に一言どうぞ。

A : 小学生・中学生・高校生のうちから「効果の上がる学習方法」を身につけてください。そうすれば、大学生になっても「予習・復習」で困りません。社会人になってからの勉強にも「予習・復習」は大切です。どうか頑張ってくださいね。